

2019年度外国基地派遣報告（概要）

資料3
南極地域観測統合推進本部
第43回観測・設営計画委員会

○インド(マイトリ基地)

専門分野	氏名	所属	隊経験	外国基地派遣歴
第四紀地質学、 古地磁気・岩石磁気学	菅沼 悠介	国立極地研究所研究教育系	第51・53・55・57・59次夏隊	無し
微化石学・古環境学・ 海洋地質学	香月 興太	島根大学エスチュアリー研究センター	第59次夏隊	無し
地球表層科学	金田 平太郎	千葉大学大学院理学研究科	第57次夏隊	無し

課 題 シューマツハオアシスにおける湖沼掘削および地形調査に基づく氷床変動史の復元

行動概要 インド側の研究者とともに計8湖沼から15本の湖底堆積物試料を採取した。また、詳細な地形調査とともに、45カ所から表面露出年代測定用試料を採取した。今後、採取した湖沼堆積物の分析と年代測定、および表面露出年代測定を進めることで、シューマツハオアシスにおける氷床変動史の解明と海水準変動の復元を進める。

期 間 令和元年11月2日～令和元年12月16日

○ニュージーランド(スコット基地)

専門分野	氏名	所属	隊経験	外国基地派遣歴
動物生態学	岩田 高志	東京大学大気海洋研究所	無し	平成30年 スコット基地 (ニュージーランド)

課 題 ロス海におけるウェッデルアザラシの採餌生態の研究

行動概要 ニュージーランド側の研究者とともに、特にビデオロガーと加速度ロガーを用いた採餌行動の観察を重点的に実施した。本調査ではウェッデルアザラシ18個体へロガーの装着をし、17個体からロガーを回収した。アザラシが深度200メートル以深の海底で餌を探す様子がビデオで記録された。また記録期間中一度も採餌潜水をしない個体、採餌潜水を数回のみした個体、たくさんの採餌潜水をする個体と個体によりバリエーションがあることがわかった。

期 間 令和元年11月7日～令和元年11月29日

○ベルギー(プリンセスエリザベス基地)、インド(マイトリ基地)

専門分野	氏名	所属	隊経験	外国基地派遣歴
磁気圏物理学	門倉 昭	国立極地研究所研究教育系	第30・44・50次越冬隊 第57次夏隊	平成23年 南極点基地(アメリカ)
超高層物理学	田中 良昌	国立極地研究所研究教育系	第57次夏隊	無し

課 題 無人システムを利用したオーロラ現象の広域ネットワーク観測

行動概要 2020年1月15日から1月24日までベルギーのプリンセスエリザベス基地に滞在し、無人オーロラ観測装置2号機(UA0-2)一式の設置作業を行った。また、1月24日から2月1日までインドのマイトリ基地に滞在し、全天オーロライメージングシステム一式の設置作業を行った。どちらも現在自動観測を順調に継続しており、UA0-2については、衛星回線経由で毎日データを取得することが出来ている。また、マイトリ基地については、現地の隊員に依頼して毎日サマリーデータを電子メールで送付して頂いている。今回の出張により、アムンゼン湾、昭和基地、PEA基地、マイトリ基地、と連なるオーロラ観測ネットワークが構築出来た。

期 間 令和2年1月4日～令和2年2月5日